

W T O (世界貿易機関) 農業交渉対策緊急代表者集会を開催！！

W T O (世界貿易機関) は、貿易ルールの見直しや管理を行う国際機関です。今、その貿易ルールの見直しに関する交渉が行われております。人間の生命に欠くことのできない「食料」の貿易ルール。それは、「工業製品」の貿易ルールとは異なっているのが当然です。

私たち農業者は、「自由貿易」の名のもとに、世界の食の未来が性急に決定されそうな情勢を危惧し、緊急集会を開催いたしました。

○ H20.12.3 栃木県集会

W T O 農業交渉のヤマ場を目前に、J A 栃木中央会・J A グループ栃木農政対策本部は、平成20年12月3日(水)に、宇都宮市「アピア」において「W T O 農業交渉対策緊急栃木県代表者集会」を開催しました。



集会には、栃木県内の生産者、消費者団体(生協)、J A ・連合会の役職員ら、約500名が参加し、栃木県知事、県議員ら3名、及び与野党を問わず出席した栃木県選出国會議員に対し、次の4項目を強く要請いたしました。

1. 食料純輸入国にのみ一方的な犠牲を強いる上限関税を断固阻止すること。
2. 国内農業生産、地域経済の維持等に不可欠な米麦、乳製品などの基幹品目を守るため、十分な数の重要品目を確保すること。
3. 自給率向上に不可欠な重要品目への最大限の柔軟性を確保すること。
4. 輸出規律の強化など公平・公正な貿易ルールを確立すること。

会場は、「日本農業を守れ」「農は国の源」などの農家の切実な訴えが表現された「むしろ旗」が掲げられ、緊迫した空気の中、参加者一同は、「悪い合意ならするな」と消費者と生産者が心をついにいたしました。

○ H20.12.9 全国集会

平成20年12月9日(火)、「WTO農業交渉対策緊急全国代表者集会」が日比谷野外音楽堂(東京)で開催され、全国各都道府県の代表者約3,000名、本県からは、伊澤中央会会長をはじめ、JAの常勤役員や生産者代表130名が参加しました。



集会では、重要品目の数や取り扱いなどで、日本の主張反映に向けて「最後の最後まで断固たる取り組みを展開する」と緊急決議を採択し、与党議員に毅然とした姿勢を堅持するよう強く訴えました。

集会終了後、参加者は霞ヶ関から永田町周辺でデモ行進を実施、請願行動では、本県伊澤中央会会長が与党議員に対して請願書を手渡しました。

私たちJAグループは、誰もが安心して暮らしていけるよう、
「食べものが安定的に供給される」ことを前提にした
新しい貿易ルールづくりを、これからも求めていきます。